

令和元年 1 1 月

各位

北九州市保健福祉局長 高松 浩文

北九州市高齢者等実態調査への協力について(お願い)

日ごろから北九州市の保健福祉行政にご理解をいただき、誠にありがとうございます。
このたび、北九州市では、高齢者等の保健福祉に関する意識やニーズを把握するため、
標記の調査を実施することといたしました。この調査は、高齢者をはじめとした市民の
皆様が、住み慣れた地域や家庭で安心して暮らしていけるよう、今後の高齢者福祉施策
の推進に役立てるためのものです。

つきましては、ご多用のところお手数をおかけいたしますが、この調査の趣旨をご理
解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

*** 4 ページ以降の調査項目に直接ご記入後、同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに令
和元年12月20日(金)までにご返送(投函)いただきますよう、お願い申し上げます。**

* 調査の対象となられた方は、令和元年9月1日現在、北九州市内にお住まいで介護保
険の要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方から、無作為に抽出させてい
ただきました。

* お答えいただいた内容につきましては、調査結果の統計の目的以外に使用することは
一切ございません。

◇同封の書類 ・ 調査票 (一般高齢者用) 1 部
・ 返信用封筒 1 枚

《この調査に関するお問合せ先》

※この調査は北九州市が下記に委託しています。

株式会社 サーベイ リサーチ センター 担当：中村・江崎

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東二丁目6番26号

電話番号:092-411-8822

北九州市保健福祉局長寿社会対策課 (高齢者等実態調査担当)

〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1 電話番号:582-2407

北九州市高齢者等実態調査

《令和元年11月調査》

一般高齢者用

*この調査票は、65歳以上(令和元年9月1日現在)の方を対象としています。

*調査票の記入にあたって

- ①記入にあたっては、黒又は青のインクのペン又はボールペンを使用してください。
- ②各設問の当てはまる番号に、○をつけてください。

以下の内容については、調査対象者ご本人がお答えください。なお、ご記入は、ご家族の方等による代筆でもかまいません。

【基本属性】

問1 あなたの性別についてお聞かせください。

いずれか一つに○。

1 男

2 女

3 無回答

問2 あなたの年齢はどちらにあたりますか。

いずれか一つに○。

1 65～69歳

2 70歳～74歳

3 75～79歳

4 80歳～84歳

5 85～89歳

6 90歳～94歳

7 95～99歳

8 100歳以上

問3 あなたのお住まいの区はどちらですか。

いずれか一つに○。

1 門司区

2 小倉北区

3 小倉南区

4 若松区

5 八幡東区

6 八幡西区

7 戸畑区

問4 あなたは現在、どなたと一緒に暮らしていますか。養子の方も含めてお答えください。

あてはまるものすべてに○。

1 配偶者(あるいはパートナー)

2 親(配偶者の親を含む。)

3 子(子の配偶者を含む。)

4 孫(孫の配偶者を含む。)

5 その他(親族以外も含む。)

6 同居者はいない

問5 現在お住まいの住居の種類はどちらに該当しますか。

また、次の選択肢のうち、3と答えた場合は、市営住宅などの公営住宅にお住まいか、民間の住宅にお住まいかについてもお答えください。

※持ち家は家族名義分も含みます。

いずれか一つに○。

1 一戸建て(借家)

2 一戸建て(持ち家)

3 アパート、マンション等の共同住宅(借家) → { 1 市営住宅などの公営住宅
2 民間の住宅

4 アパート、マンション等の共同住宅(持ち家)

5 その他()

いずれか一つに○。

【健康・医療】

問6 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

いずれか一つに○。

1 よい

2 まあよい

3 普通

4 あまりよくない

5 よくない

問7 「かかりつけ医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

1 決めている

2 決めていない

問8 「かかりつけ歯科医」を決めていますか。

いずれか一つに○。

1 決めている

2 決めていない

☆「かかりつけ歯科医」とは☆

普段から、歯科治療や歯科健診、予防処置、歯みがき指導等を受けたり、歯や口の健康について気軽に相談したりできる歯医者さんのことです。

問9 あなた自身や身近な家族(親や配偶者など)の病気の名前や飲んでいる薬の情報、また、利用している介護サービスなどの医療・介護情報について、救急搬送の際や入院した際、新しく病院にかかった際に説明することができますか。

いずれか一つに○。

- 1 自分自身も家族についても、間違いなく説明できる
- 2 自分自身は説明できるが、家族については不安がある
- 3 自分自身も家族についても、説明にやや不安がある
- 4 自分自身も家族についても、説明できない

問10 仮に、あなたが末期がんや進行性の疾患など治る見込みがない病気と診断され、余命6か月(もしくはそれより短い期間)と告げられたとした場合、どこで治療することを希望されますか。

いずれか一つに○。

- 1 最期まで自宅で療養したい ⇒問11へ
- 2 できるだけ自宅で過ごして、最期は医療機関に入院したい
- 3 なるべく早く医療機関に入院したい
- 4 老人ホームなど介護施設で療養したい
- 5 その他()⇒問11へ

} **副問1**へ

副問1 【問10で「2,3,4」と答えた方のみにおたずねします】

「自宅」以外を選択した理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 自宅では家族に介護の負担がかかると思うから
- 2 自宅では必要な医療や介護が受けられないから
- 3 自宅で最期を迎えることができるという想像ができない(イメージがわからない)から
- 4 自宅で療養すると、費用がかかると思うから
- 5 病院等の専門機関で治療を受けたいから
- 6 その他()

【介護予防】

☆「介護予防」とは☆

いつまでもいきいきと自分らしい生活を送れるよう、健康づくりや生活習慣の改善に取り組むことで、介護が必要な状態になることを防いだり、もし介護が必要になってもそれ以上悪化しないように早期の予防策を打つことです。そのためには**フレイル（加齢に伴い体力や社会性が衰えた状態のこと。適切な対応で元に戻る事が可能）**を予防することが重要です。

問11 健康づくりや介護予防(フレイル予防)のために、日ごろから取り組んでいることはありますか。

いずれか一つに○。

1 ある ⇒副問1・2・3へ

2 特になし ⇒副問4へ

副問1 【問11で「1 ある」と答えた方のみにおたずねします】

健康づくりや介護予防(フレイル予防)に、取り組んだきっかけは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 テレビの健康番組を見て | 2 書籍(新聞・雑誌を含む)を読んで |
| 3 友人・知人に誘われて | 4 講座・講演会に参加して |
| 5 啓発チラシやパンフレットを見て | 6 ホームページを見て |
| 7 病気や体力低下がきっかけとなって | 8 できるだけ長く健康に過ごしたいから |
| 9 その他() | |

副問2 【問11で「1 ある」と答えた方のみにおたずねします】

健康づくりや介護予防(フレイル予防)のために、日ごろから取り組んでいることは何ですか。

あてはまるものすべてに○。

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 休養や睡眠を十分にとる | 2 規則正しい生活を送る |
| 3 栄養バランスの取れた食事をとる | 4 定期的に健康診断をうける |
| 5 酒やたばこを控える | 6 散歩や体操など定期的な運動を続ける |
| 7 口や歯の手入れをこまめに行う | 8 よく噛んで食べる |
| 9 できるだけ外出をして、友人・知人との交流機会をもつ | |
| 10 気持ちをなるべく明るくもつ | |
| 11 ボランティアなどの社会活動に積極的に参加する | |
| 12 その他() | |

副問3 【問11で「1 ある」と答えた方のみにおたずねします】

地域の会合、運動・趣味の会の活動などの「通いの場」への参加頻度を教えて
ください。

あてはまるものに○。

- 1 週3回以上 2 週1~2回 3 月1~3回 4 年に数回

副問4 【問11で「2 特にない」と答えた方のみにおたずねします】

それはなぜですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 興味・関心がない 2 体力や気力が
3 どのようなことに取り組んでよいかわからない 4 時間的な余裕がない
5 金銭的な余裕がない
6 その他()

【生きがい・社会参加】

問12 この一年間に地域活動(自治会やまちづくり協議会、老人クラブなど)、または、左記の地域活動以外のボランティア活動に参加しましたか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 地域活動に参加した 2 ボランティア活動に参加した
3 いずれも参加していない

問13 現在、興味・関心があること、あるいは今後取り組んでみたいことはどのようなものですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 新たな資格や技術を身につけること
2 地域活動やボランティア活動等を通して社会貢献をすること
3 スポーツや体操、運動などをすること
4 芸術・文化活動などをすること
5 その他()
6 特に興味・関心のあることはない

問14 現在、市内では多くの高齢者が、様々な活動の担い手として活躍されています。
今後ますます高齢化が進む中、社会貢献についてどのように考えますか。

いずれか一つに○。

- 1 積極的に社会貢献したい
- 2 自分のできる範囲で社会貢献したい
- 3 高齢者に負担をもとめるべきではない
- 4 その他()

【就労】

問15 あなたの就労状況について、あてはまるものに○をしてください。

いずれか一つに○。

- 1 働いている ⇒ **副問1・2・3**へ
 - 2 以前は働いていたが、現在は働いていない
 - 3 働いたことがない
- } 問16へ

副問1 【問15で「1 働いている」と答えた方におたずねします。】

今のお仕事の就労形態はどれですか。

いずれか一つに○。

- 1 自営事業主・個人事業主・フリーランス(家族従業者を含む。)
- 2 正規の社員・職員
- 3 パート・アルバイト・嘱託
- 4 会社または団体の役員
- 5 家庭内の賃仕事(内職)
- 6 ボランティアを兼ねた就労(シルバー人材センター等)
- 7 その他()

副問2 【問15で「1 働いている」と答えた方におたずねします。】

あなたはいくつまで働きたいですか。

いずれか一つに○。

- | | | |
|--------------|----------|---------|
| 1 70歳まで | 2 75歳まで | 3 80歳まで |
| 4 働ける限りいつまでも | 5 その他() | |

副問3 【問15で「1 働いている」と答えた方におたずねします。】

あなたが働く目的を教えてください。

あてはまるものすべてに○。

- 1 働かないと生活ができないから
- 2 生活にゆとりが欲しいから
- 3 社会とのつながりを保つため
- 4 心身の健康維持のため
- 5 仕事にやりがいを感じているため

【ITリテラシー】

問16 インターネット等の活用状況について教えてください。

あてはまるものすべてに○。

- 1 自宅のパソコンでインターネットを利用している
- 2 スマートフォンを使っている
- 3 携帯電話で電話だけしている
- 4 タブレット端末を使っている
- 5 何も使っていない
- 6 パソコンでインターネットを利用したい
- 7 スマートフォンを使いたい
- 8 タブレット端末を使いたい
- 9 その他()

【地域との関わり・支援の状況】

問17 介護や病気などで困ったときに、相談できる人はどんな方ですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 家族や友人・知人
- 2 ケアマネジャーなどの介護関係者やかかりつけ医などの医療関係者
- 3 区役所や地域包括支援センターなどの行政関係者
- 4 民生委員・児童委員や福祉協力員などの地域の役員
- 5 その他()
- 6 相談できる人はいない

問18 ふだん、近所で親しく付き合っている人はいますか。

いずれか一つに○。

- 1 何か困ったときに助け合える親しい人がいる
- 2 お互い訪問し合う程度の人がある
- 3 立ち話をする程度の人がある
- 4 あいさつをかわす程度の人がある
- 5 ほとんど付き合いはない
- 6 その他()

【終活】

問19 終活についておたずねします。

あてはまるものすべてに○。

- 1 終活についてすでに準備している
- 2 終活について相談したいと思っている
- 3 終活について関心がある
- 4 終活とはどのようなものか知っている
- 5 終活という言葉聞いたことがある
- 6 全く知らない
- 7 その他()

【認知症】

問20 認知症は誰でもかかりうる病気であることを知っていますか。

いずれか一つに○。

- 1 知っている
- 2 知らない

問21 「認知症」と聞いて、最初に思うことはどのようなことですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 「もの忘れ」と「認知症」の違いがわからない
- 2 どこに相談に行ったらよいかわからない
- 3 どのような生活を心がけていれば、予防できるかわからない
- 4 家族に迷惑をかけそうで心配である
- 5 「認知症」に対応した介護が受けられるかどうか心配である
- 6 「認知症」になっても、自宅で生活を続けられるか心配である
- 7 「認知症」になっても、自分の財産などを管理できるか心配である
- 8 「認知症」のことについて、あまりよく知らない(正しく理解できていない)
- 9 その他()
- 10 特に何も思わない

問22 認知症への理解が進むよう現在、認知症の人(本人)が、ご自身の体験談や思いなどを講演会などで発信する活動が広がりつつあります。このような活動を知っていますか。

いずれか一つに○。

1 知っている

2 知らない

問23 仮に、あなたのご家族が、認知症になった場合に、あなたはどのようなことを心配だと思えますか。また、現在、認知症のご家族がいる方はどのようなことを心配だと感じていますか

あてはまるものすべてに○。

- 1 身体的・精神的な負担が大きいのではないか
- 2 自分自身が介護できなくなったらどうしていけばよいか
- 3 経済的に苦しくなるのではないか
- 4 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- 5 自分(あなた)や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- 6 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
- 7 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭ったりするのではないか
- 8 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか
- 9 その他()

問24 認知症の取組として、北九州市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療につなげる体制づくり
- 2 医師や介護サービス事業者などの専門性の向上
- 3 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
- 4 認知症の人の在宅での安全な生活を支える取組
- 5 入所できる施設の充実
- 6 認知症の正しい理解を広め、認知症のよき理解者を増やす取組
- 7 認知症の本人や家族の意見を聞く取組
- 8 介護する家族同士の交流会など、家族の精神的な負担を軽減する取組
- 9 認知症カフェの充実など、認知症の人やその家族の居場所づくりの取組
- 10 その他()

【虐待・権利擁護】

問25 虐待や財産をねらった詐欺など高齢者の権利を侵害するものに対する不安がありますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 不安はない | 2 どちらかといえば不安は感じない |
| 3 どちらかといえば不安を感じる | 4 不安を感じる |
| 5 どちらともいえない | 6 その他 |

問26 成年後見制度を知っていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 よく知っている | 2 少し知っている |
| 3 よく知らないが聞いたことがある | 4 全く知らない |

☆「成年後見制度」とは☆

認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分になった場合に、財産の管理や、身のまわりの世話のための介護などのサービスの契約、遺産分割などの協議など、自分で行うことが難しい場合や、判断ができず自分に不利な契約を結ぶ被害にあう恐れがある場合など、判断能力の不十分な方々を保護し、支援する制度のことです。

問27 あなた自身が認知症などで判断が十分にできなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いませんか

いずれか一つに○。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問28 「市民後見人」を知っていますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 よく知っている | 2 少し知っている |
| 3 よく知らないが聞いたことがある | 4 全く知らない(聞いたこともない) |

問29 「成年後見制度」については下記の窓口などで相談に応じてくれます。この中で知っているものはどれですか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 区役所、地域包括支援センター
- 2 社会福祉協議会
- 3 法テラス
- 4 弁護士会
- 5 司法書士会
- 6 社会福祉士会
- 7 行政書士会
- 8 税理士会
- 9 その他()

問30 今後、高齢化が進む中、成年後見制度の利用の促進・充実を図っていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 成年後見制度についての周知・広報活動の推進
- 2 高齢者や障害のある人の権利擁護に関する相談窓口や相談体制の充実
- 3 成年後見制度の利用が必要な市民の把握や支援を広げるため、医療・福祉・法律などの専門職種を中心とした連携
- 4 本人の状態に応じた成年後見制度(類型:後見・保佐・補助)を選択することができるための支援の充実
- 5 成年後見人による金銭の横領などの不正防止の徹底
- 6 本人に身近な地域において住民が市民後見人として支えていく体制の構築
- 7 特になし
- 8 その他()

【地域包括支援センター】

問31 「地域包括支援センター」を知っていますか。

いずれか一つに○。

- 1 はい
- 2 いいえ

「地域包括支援センター」とは

地域包括支援センターは高齢者のための保健・医療・福祉・介護に関する「総合相談窓口」です。高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、高齢者の幅広い相談に応じます。北九州市では、平成18年4月から区役所や出張所に設置しています。

保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー(主任介護支援専門員)といった専門員が介護に関する相談に応じるほか、介護に関する支援、高齢者の権利擁護・虐待防止に関する取組、地域全体を包括的に支援していくためのネットワーク拠点としての活動を行っています。

平日の夜間や休日などの緊急時は、電話による相談対応も行っています。

【介護保険制度】

問32 介護が必要な人を家族だけで支えるのではなく、社会全体で支えることを目指してつくられた介護保険制度について、どのようにお考えですか。

いずれか一つに○。

- 1 よいと思う
- 2 どちらかといえばよいと思う
- 3 どちらかといえばよくないと思う
- 4 よくないと思う

【保健・福祉サービスの利用】

問33 介護が必要な状態になったとき、どこで生活することを希望されますか。

いずれか一つに○。

- 1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活したい ⇒**副問1**へ
- 2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活したい⇒**副問2**へ
- 3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活したい⇒**副問2**へ
- 4 その他()⇒問34へ

- 副問1** 【問33「1 ホームヘルプサービスやショートステイなどを利用しながら、ずっと在宅で生活したい」と答えた方のみにおたずねします】
介護が必要な状態になったとき、自宅で暮らし続けるためには、どういったことが最も必要だと思いますか。

いずれか一つに○。

- 1 家族の協力
- 2 地域における助け合い
- 3 入浴や食事などの介助を行うヘルパーや、デイサービスなどの介護サービス
- 4 NPO・ボランティアなどが行う生活援助サービス(見守り、買い物、家事援助、配食など)
- 5 医師による往診や緊急時に入院できるなどの医療体制が整っていること
- 6 自宅の改修や改築(段差の解消、手すりの設置など)
- 7 その他()

- 副問2** 【問33で「2 安否確認などのサービスを受けることができる高齢者向けの賃貸住宅等で生活したい」「3 入浴・排泄・食事・日常生活の介助等を受けることができる特別養護老人ホームなどの施設で生活したい」と答えた方のみにおたずねします】
その理由は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 介護に協力できる家族がいないから
- 2 家族はいるが仕事などのため介護に協力できそうにないから
- 3 家族に迷惑をかけたくないから
- 4 専門的な介護が受けられ、安心できるから
- 5 その他()

【負担に対する考え方】

問34 高齢化の進展に伴い、介護保険サービスにかかる費用が増大し、介護保険料も上昇していくことが見込まれています。このような状況をふまえ、保険料と介護保険サービスとの関係について、あなたのお考えにもっとも近いものはどれですか。

いずれか一つに○。

- 1 保険料の負担が増えても、もっとサービスを充実してほしい
- 2 真に必要なサービスに重点を置くなどして、できるだけ保険料の上昇を抑えるべき
- 3 サービスを減らしてでも、保険料を下げるべき

【生活環境】

問35 現在お住まいの住宅について、どのような問題を感じていますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 住宅の構造(段差・階段)や設備(便所・浴室)が高齢者には使いにくい
- 2 防犯設備や防災設備が不十分である
- 3 家賃、税金、住宅維持費などの経済的負担が重い
- 4 その他()
- 5 何も問題は感じていない

問36 外出や移動のときに最も困っていることは何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 駅や道路などに段差や階段が多く不便である
- 2 駅や路上の案内表示などが分かりにくく迷うことがある
- 3 公共交通機関が近くになく、不便である
- 4 その他()
- 5 特に困っていることはない

問37 外出する際に最も多く使用する移動手段は何ですか。

いずれか一つに○。

- 1 自分もしくは、同居家族が運転する自動車
- 2 別居の家族や知人が運転する自動車
- 3 JR、バスなどの公共交通機関
- 4 タクシー
- 5 徒歩、自転車
- 6 その他()

【暮らし向き】

問38 現在の暮らし向きは、どうですか。

いずれか一つに○。

- 1 家計にゆとりがあり、まったく心配せずに暮らしている
- 2 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配せずに暮らしている
- 3 家計にゆとりがなく、多少心配である
- 4 家計が苦しく、非常に心配である
- 5 その他()

問39 保健・医療・福祉関係の費用(医療費、介護サービス費等)のおよその金額(月額)はどのくらいですか。

いずれか一つに○。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 1万円未満 | 2 1万円以上3万円未満 |
| 3 3万円以上5万円未満 | 4 5万円以上10万円未満 |
| 5 10万円以上 | 6 その他 |

【高齢者】

問40 あなたは、一般的に何歳頃から「高齢者」だと思いますか。

いずれか一つに○。

- | | |
|--------------|---------|
| 1 60歳以上 | 2 65歳以上 |
| 3 70歳以上 | 4 75歳以上 |
| 5 80歳以上 | 6 85歳以上 |
| 7 年齢では判断できない | |

【高齢者に対する福祉施策】

問41 福祉に関する相談窓口がどこにあれば、気軽に立ち寄れますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 市役所・区役所
- 2 市民センター
- 3 駅ビルの中など、通勤途中に立ち寄れる交通の便が良い場所
- 4 勤務先
- 5 子育て関連施設
- 6 介護関連施設
- 7 その他()

問42 今後、さらに高齢化が進んでいく中で、北九州市はどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 健康づくりや介護予防に関連した事業の充実
- 2 高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの支援・社会参加の促進
- 3 高齢者の就業や起業、NPO活動などへの支援の充実
- 4 認知症高齢者対策の充実
- 5 財産管理や成年後見などの権利擁護の充実
- 6 虐待を防止する制度や取組の充実
- 7 介護に関する相談窓口や相談体制の整備
- 8 在宅介護のためのヘルパーやショートステイなどのサービスの充実
- 9 特別養護老人ホームや認知症グループホームなどの介護施設の整備
- 10 高齢者に配慮した優良賃貸住宅などの住宅整備の促進
- 11 在宅で介護する家族に対する支援の充実
- 12 利用者が介護サービスを適切に選択することができる情報の提供
- 13 病院や診療所などの医療機関の充実
- 14 その他()

ご協力ありがとうございました。
調査票は同封の返信用封筒に入れ、
切手を貼らずに12月20日(金)までに投函してください。